

2007年 9 月 23 日実施

平成19年度（第37回）  
情報処理検定試験  
〈ビジネス情報部門〉  
第1級 筆記試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は 6 ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は30分です。

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

## 【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

- インターネットを利用して、音声通話を行う技術。
- プログラムの内部構造には関係なく、入力データが仕様書の通りに出力されるかを確認するテスト。
- 電子メールにおいて、音声や画像などのデータの送受信を可能にするための仕組みを規定したもの。
- サーバ専用のコンピュータを置かないネットワーク形態。接続された各コンピュータが互に対等な関係であり、プリンタ共有などを目的としたコンピュータ数台による小規模なLANに向いている。
- コンピュータやプリンタをLANに接続するために必要な機器。MACアドレスという固有の番号がつけられている。

## 解答群

ア. V o I P	イ. サブネットマスク	ウ. ホワイトボックステスト
エ. N I C	オ. M I M E	カ. D H C P
キ. クライアントサーバシステム	ク. ピアツーピア	ケ. B I O S
コ. M I P S	サ. X M L	シ. ブラックボックステスト

## 【2】 次の文の（ 1 ）から（ 5 ）に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

コンピュータシステムは、信頼性向上や安定化のために次のような障害対策を行って運用する。

サーバに使用されている記憶装置の多くは、複数台のハードディスク装置を並列に組み合わせて一体化し、全体を1つのディスク装置のように扱う（ 1 ）を採用して信頼性を高めている。また、保守性を高めるために、データのバックアップが不可欠である。サーバに保存されているデータは容量が大きいいため、磁気テープを記憶媒体とした（ 2 ）とよばれるバックアップ用の外部記憶装置を利用することが多い。代表的な記憶メディアとしては、本来、音楽用に開発された（ 3 ）などがある。データの定期的なバックアップは、故障したシステムを正常な状態に戻すためにかかる（ 4 ）の短縮にもつながる。

突然の停電によるデータ破損や記憶装置の故障への対策として、安全にデータを保存してコンピュータを正常に終了させるために（ 5 ）を設置する。

## 解答群

ア. トポロジ	イ. R A I D	ウ. D A T
エ. ハブ	オ. バッファ	カ. 平均故障間隔
キ. R A S I S	ク. キャッシュ	ケ. 平均修復時間
コ. ストリーマ	サ. U P S	シ. C G I

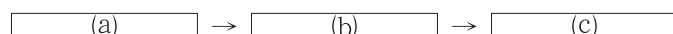
## 【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

- 電子メールにおける、受信用サーバとして代表的なもの。
 

ア. DNSサーバ	イ. P O Pサーバ	ウ. S M T Pサーバ
-----------	-------------	---------------
- 毎年7月における平均気温とエアコンの売上台数の関係など、2種類のデータ間の関係や傾向を分析すること。
 

ア. 回帰分析	イ. ヒストグラム	ウ. 要求定義
---------	-----------	---------
- インターネット利用における通信費、プリンタの印刷用紙やインク等の消耗品費など、コンピュータシステムの運用にかかる費用。
 

ア. ランニングコスト	イ. スループット	ウ. 業務フロー
-------------	-----------	----------
- データベース設計の順序を表した次の図の、空欄(a)～(c)にあてはまる適切な組み合わせを答えなさい。



ア. (a)論理設計	(b)概念設計	(c)物理設計
イ. (a)概念設計	(b)物理設計	(c)論理設計
ウ. (a)概念設計	(b)論理設計	(c)物理設計

- 128M Bの記憶容量をもつデジタルカメラで、解像度1,000×800ドット、1ドットあたり32ビットの色情報をもつ画像を撮影したい。このカメラに保存することができる最大の枚数を計算しなさい。なお、すべて同じ条件で撮影し、データを圧縮しないものとする。

ア. 4枚	イ. 5枚	ウ. 40枚
-------	-------	--------

【4】 次の各問いに答えなさい。

問1. 次の式の説明として適切なものを選び、記号で答えなさい。

=PMT(0.5%, 5, 0, 100000)

- ア. 月利率0.5% 5か月間で¥100,000にするために必要な毎年の積立額
- イ. 年利率0.5% 5年間で¥100,000にするために必要な毎年の積立額
- ウ. 年利率0.5% 5年間で¥100,000にするために必要な毎月の積立額

問2. 次の表は、ある鉄道会社のS L列車の乗車料金早見表である。S L列車の乗車料金は、年齢区分ごとに1 kmあたりの普通運賃とS L料金の和に距離を乗じて求める。D 5に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をH 8までコピーするものとする。

- ア. =(\$B5+\$C5)\*D\$4
- イ. =(B\$5+C\$5)\*\$D4
- ウ. =(\$B5+\$C5)\*\$D4

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	S L列車乗車料金早見表							
2	年齢区分	普通運賃 (円/km)	S L料金 (円/km)	距離 (km)				
3				10	20	30	40	50
4	幼児	0	6	60	120	180	240	300
5	小学生	10	6	160	320	480	640	800
6	大人	20	12	320	640	960	1,280	1,600
7	シニア	15	9	240	480	720	960	1,200
8								

問3. ある商店では、閉店後における売れ残り商品を管理するために次の表を用いている。商品管理コードの左端から1けたは商品コード、2～9けたは加工年月日、10～12けたは加工数量を表している。D列の「備考」は、加工日を含めた消費期間を過ぎた場合は、廃棄処分と表示する。D 5に設定する式の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をD 8までコピーするものとする。また、消費期間表は、加工年月日を含めた消費期間の日数を、商品ごとに示している。なお、D 2にはTODAY関数が設定されている。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	
1	商品の在庫表									
2					本日	2007/9/23				
3	商品管理コード	商品名	在庫数量	備考	消費期間表					
4	H20070921122	ひじき煮	2	廃棄処分	商品コード	S	D	H		
5	D20070922085	大根切干煮	1	廃棄処分	商品名	白和え	大根切干煮	ひじき煮		
6	H20070923050	ひじき煮	1		消費期間	1	2	3		
7	S20070923100	白和え	5	廃棄処分						
8										

=IF(DATE(MID(A5, 2, 4), MID(A5, 6, 2), MID(A5, 8, 2))>TODAY)+HLOOKUP(LEFT(A5, 1), \$G\$4:\$I\$6, 3, FALSE)="", "廃棄処分", "")

- ア. <\$D\$2+1
- イ. <=\$D\$2
- ウ. <=\$D\$2+1

(注) FALSEは0でも可。

問4. 次の表とグラフは、ある洋菓子店の1か月間の売上高を商品ごとに集計したものを降順に並べ替え、売上構成比率と累計比率を求めたものである。次の(1), (2)に答えなさい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	商品売上集計表									
2	商品名	売上高	売上構成比率	累計比率	グループ	商品売上上のパレート図				
3	マロンパイ	293,048	43.4%	43.4%	※	300,000	累計比率			
4	タルト	153,837	22.8%	66.2%	※	200,000	売 上 高			
5	パンケーキ	84,948	12.6%	78.8%	※	100,000	0			
6	レアチーズ	43,855	6.5%	85.3%	※	マ	タ	パ	レ	モ
7	モンブラン	25,948	3.8%	89.1%	※	ロン	パイ	キ	ー	ズ
8	エクレア	20,485	3.0%	92.1%	※	ブ	ラ	ン	ケ	ー
9	カステラ	19,465	2.9%	95.0%	※	カ	ス	テ	ラ	※
10	ビスケット	18,484	2.7%	97.7%	※	ビ	ス	ケ	ッ	ト
11	パフケーキ	15,847	2.3%	100.0%	※	パ	フ	ケ	ー	キ
12										
13										
14										

(注) ※印は、値の表記を省略している。

(1) E列の「グループ」は、ABC分析をしてグループ名を表示する。E列に表示される A の数を答えなさい。ただし、D列の「累計比率」が70%以下の商品は A , 70%を超え90%以下の商品は B , 90%を超える商品は C を表示する式が設定されている。

(2) Aグループの特徴の説明として適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. 売れ筋商品であるため、在庫管理を重点的に行って品切れを起こさないようにする。
- イ. 商品数と売上高が少ないため、品切れを起こしても、あまり問題がない。
- ウ. 商品数が多いにもかかわらず、売上高が小さいため、在庫不足に注意を払わなくてもよい。





- 【6】 ある高校では、生徒が来年度に履修する選択科目と必要な教科書を、次のようなりレシヨナル型データベースを利用して管理している。なお、生徒は芸術選択と進路別選択から1科目ずつ選択する。次の各問いの答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

(生徒は希望する選択科目を、この用紙に記入して提出する)

選択科目希望登録票		
2007年7月15日		
生徒コード : 07A01 氏名 : 安部 ○○		
種類	科目コード	科目名
芸術選択	G01	音楽Ⅰ
進路別選択	S01	数学Ⅱ

希望表

生徒コード	芸術コード	進路別コード
07A01	G01	S01
07A02	G01	S02
07A03	G02	S01
07A04	G01	S03
}	}	}

生徒表

生徒コード	氏名
07A01	安部 ○○
07A02	伊藤 ○○
07A03	及川 ○○
07A04	大澤 ○○
}	}

芸術選択表

芸術コード	芸術科目名	芸術教科書名	芸術出版社	芸術金額
G01	音楽Ⅰ	新高校生の音楽	文光図書	800
G02	書道Ⅰ	高校書道Ⅰ	書栄館	820
}	}	}	}	}

進路別選択表

進路別コード	進路別科目名	進路別教科書名	進路別出版社	進路別金額
S01	数学Ⅱ	高校数学Ⅱ	全日本書籍	960
S02	リーディング	New English	東京堂出版	770
}	}	}	}	}

- 問1. 希望表の芸術コードや進路別コードのように、他の表で主キーになっている列の名称として、最も適切なものを答えなさい。

ア. 外部キー

イ. アトリビュート

ウ. 複合キー

- 問2. 次の選択科目希望登録票の内容を、希望表に追加登録する場合、空欄(a)、(b)にあてはまる適切な組み合わせを答えなさい。

(生徒が提出した用紙)

選択科目希望登録票		
2007年7月15日		
生徒コード : 07B12 氏名 : 坂本 ○○		
種類	科目コード	科目名
芸術選択	G02	書道Ⅰ
進路別選択	S01	数学Ⅱ

\_\_\_\_\_ (a) \_\_\_\_\_ 希望表 \_\_\_\_\_ (b) \_\_\_\_\_ ('07B12', 'G02', 'S01')

ア. (a) UPDATE

(b) SET

イ. (a) INSERT INTO

(b) SET

ウ. (a) INSERT INTO

(b) VALUES

問3. 選択科目希望登録票がすべて提出され、選択科目ごとの人数を集計する。  
進路別選択の希望者数が10名に満たない科目の一覧表を作成する場合、空欄  
にあてはまる適切なものを答えなさい。

進路別科目名	希望者数
古典講読	7
地学Ⅱ	5
ライティング	3
}	}

```
SELECT 進路別科目名, COUNT(希望表.進路別コード) AS 希望者数
FROM 希望表, 進路別選択表
WHERE 希望表.進路別コード = 進路別選択表.進路別コード
GROUP BY 進路別科目名
HAVING 
```

- ア. SUM(希望表.進路別コード) < 10
- イ. COUNT(希望表.進路別コード) < 10
- ウ. COUNT(希望表.生徒コード) < 10

問4. 芸術科目の希望者一覧表を、芸術コードの昇順になるように作成する場合、空欄にあてはまる適切なものを  
答えなさい。ただし、芸術コードが同一の場合は、生徒コードの昇順にする。

生徒コード	氏名	芸術コード	芸術科目名
}	}	}	}
07A03	及川 ○○	G02	書道Ⅰ
07A06	影山 ○○	G02	書道Ⅰ
07A10	高橋 ○○	G02	書道Ⅰ
}	}	}	}

```
SELECT 生徒表.生徒コード, 氏名, 芸術選択表.芸術コード, 芸術科目名
FROM 希望表, 生徒表, 芸術選択表
WHERE 希望表.生徒コード = 生徒表.生徒コード
AND 希望表.芸術コード = 芸術選択表.芸術コード
ORDER BY 
```

- ア. 芸術選択表.芸術コード, 生徒表.生徒コード
- イ. 生徒表.生徒コード, 芸術選択表.芸術コード
- ウ. 芸術選択表.芸術コード DESC, 生徒表.生徒コード DESC

問5. 生徒コードが 07C23 の生徒に次のような選択科目教科書購入明細票を作成して配付する。必要なデータを  
抽出する場合、空欄にあてはまる適切なものを答えなさい。

(生徒はこの明細票で選択した科目を確認し、必要な教科書を購入する)

選択科目教科書購入明細票				
		生徒コード: 07C23	氏名: 宮本 ○○	
種類	科目名	教科書名	出版社	金額
芸術選択	音楽Ⅰ	新高校生の音楽	文光図書	800
進路別選択	リーディング	New English	東京堂出版	770
			合計	1,570

※ 生徒コード、氏名および表中の網掛けされた部分が抽出される。

```
SELECT 生徒表.生徒コード, 氏名, 芸術科目名, 芸術教科書名, 芸術出版社, 芸術金額,
進路別科目名, 進路別教科書名, 進路別出版社, 進路別金額, 
FROM 希望表, 生徒表, 芸術選択表, 進路別選択表
WHERE 希望表.生徒コード = 生徒表.生徒コード
AND 希望表.芸術コード = 芸術選択表.芸術コード
AND 希望表.進路別コード = 進路別選択表.進路別コード
AND 希望表.生徒コード = '07C23'
```

- ア. SUM(合計)
- イ. 合計
- ウ. 芸術金額 + 進路別金額

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成19年度 (第37回) 情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級 筆記  
解 答 用 紙

【1】

1	2	3	4	5

【2】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

【3】

1	2	3	4	5

【4】

問 1	問 2	問 3	問 4	
			(1)	(2)

【5】

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5

【6】

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5

試 験 場 校 名	受 験 番 号

得 点 合 計

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成19年度 (第37回) 情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級 筆記  
審査基準

【1】	1	2	3	4	5	各2点 計10点
	ア	シ	オ	ク	エ	

【2】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	各2点 計10点
	イ	コ	ウ	ケ	サ	

【3】	1	2	3	4	5	各4点 計20点
	イ	ア	ア	ウ	ウ	

【4】	問1	問2	問3	問4		各4点 計20点
				(1)	(2)	
	イ	ア	ウ	2	ア	

【5】	問1	問2	問3	問4	問5	各4点 計20点
	ウ	ア	ウ	イ	16,800	

※「,」なし可

【6】	問1	問2	問3	問4	問5	各4点 計20点
	ア	ウ	イ	ア	ウ	

試験場校名	受験番号

得点合計
100

2007年 9 月 23 日実施

平成19年度（第37回）

情報処理検定試験  
〈ビジネス情報部門〉  
第1級 実技試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 監督者の指示にしたがって、シート 4 の A 1 のセルに受験番号を入力してください。
3. 試験問題は 2 ページあります。
4. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
5. 制限時間は30分です。

ある食堂のメニューには、焼肉定食と刺身定食がある。最近の売上傾向を把握するために、平成17年～18年の売上表から、売上傾向分析報告書を作成することになった。処理条件にしたがって、シート1からシート4を作成しなさい。なお、各シートの※印の部分は資料をもとに入力し、※※印の部分は関数やアプリケーションソフトのデータ集計機能などの利用および各自の分析結果により作成すること。

資料1 メニュー表

メニューコード	メニュー名	単価
YN	焼肉定食	900
SM	刺身定食	1,500

資料2 売上表

年	月	日	曜	売上コード	メニュー名	食数
17	1	3	月	YN24	焼肉定食	24
17	1	3	月	SM07	刺身定食	7
17	1	4	火	YN21	焼肉定食	21
17	1	4	火	SM06	刺身定食	6
{	}	}	}	}	}	}
18	12	29	金	YN20	焼肉定食	20
18	12	29	金	SM05	刺身定食	5

### 処理条件

- 表の形式および体裁は、次ページのシート1からシート4を参考にして設定する。  
設定する書式：罫線，列幅，数値につける3けたごとのコンマ
- シート1は，次のように作成する。  
B列の「メニュー名」の※印の部分は，資料1のデータを入力する。なお，メニューコードは半角英字である。
- シート2は，次のように作成する。
  - 検定試験開始前に提供されたデータを使用する。
  - F列の「メニュー名」の※※印の部分は，E列の「売上コード」の左端から2文字をもとにシート1の「メニュー表」を参照して表示する。
  - G列の「食数」の※※印の部分は，E列の「売上コード」の右端から2文字を抽出し，数値データに変換する。
- シート3は集計作業用シートで，次のように作成する。  
シート2のデータをアプリケーションソフトのデータ集計機能を利用して集計する。  
設定例：行のフィールドは「年」・「月」，列のフィールドは「メニュー名」にする。
- シート4は，次のように作成する。
  - 「1. 焼肉定食の食数集計表」は，次のように作成する。
    - D列の「食数」は，シート3から必要な部分をコピーして，値を貼り付ける。
    - E列の「食数累計」は，同年の1月からその月までの食数の合計を求める。  
E6の設定例：17年1月～17年1月の食数の合計を求める。  
E11の設定例：17年1月～17年6月の食数の合計を求める。
    - F列の「移動合計」は，過去12か月の食数の合計を求める。  
F18の設定例：17年2月～18年1月の食数の合計を求める。
  - 「2. 刺身定食の食数集計表」は，「1. 焼肉定食の食数集計表」と同様に作成する。
  - 「3. 18年売上集計表」は，次のように作成する。
    - 33行目の「単価」の※印の部分は，資料1のデータを入力する。
    - 34行目の「18年食数」は，18年の焼肉定食または刺身定食の食数の合計を表示する。
    - 35行目の「食数構成比」は，「18年食数」の合計に対する焼肉定食または刺身定食の割合とする。ただし，％表示で小数第1位まで表示する。
    - 36行目の「18年売上」は，「単価 × 18年食数」の式で求める。
    - 37行目の「売上構成比」は，「18年売上」の合計に対する焼肉定食または刺身定食の割合とする。ただし，％表示で小数第1位まで表示する。
  - 「4. 食数の売上傾向分析結果」のD40およびD41は，作成したグラフを分析し，増加，停滞，減少のいずれかを入力する。
  - グラフは，「1. 焼肉定食の食数集計表」および「2. 刺身定食の食数集計表」の18年のデータから作成する。
    - グラフの※※印は，折れ線グラフの線および凡例を表示する。
    - 左のグラフの数値軸目盛は，最小値(0)，最大値(10,000)および間隔(2,000)を設定する。
    - 右のグラフの数値軸目盛は，最小値(0)，最大値(2,500)および間隔(500)を設定する。
- シート4を報告書として印刷する。

	A	B
1		
2	メニュー表	
3	メニューコード	メニュー名
4	YN	※
5	SM	※

(シート 1)

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2	売上表						
3	年	月	日	曜	売上コード	メニュー名	食数
4	17	1	3	月	YN24	焼肉定食	24
5	17	1	3	月	SM07	刺身定食	7
6	17	1	4	火	YN21	※※	※※
7	17	1	4	火	SM06	※※	※※
8	}	}	}	}	}	}	}
1042	18	12	29	金	YN20	※※	※※
1043	18	12	29	金	SM05	※※	※※

(シート 2)

	A	B	C	D	E
1					
2	合計/食数		メニュー名		
3	年	月	刺身定食	焼肉定食	総計
4	17	1	180	638	818
5		2	※※	※※	※※
6		3	※※	※※	※※
7		4	※※	※※	※※
8		5	※※	※※	※※
9		6	※※	717	925
10		7	※※	※※	※※
11		8	※※	※※	※※
12		9	※※	※※	※※
13		10	※※	※※	※※
14		11	※※	※※	※※
15		12	152	698	850
16	17 集計		2188	8461	10649
17	}	}	}	}	}
18					
28	}	}	}	}	}
12					
29	18 集計		1613	8472	10085
30	総計		3801	16933	20734

(シート 3)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

### 売上傾向分析報告書

#### 1. 焼肉定食の食数集計表

年	月	食数	食数累計	移動合計
17	1	638	638	
17	2	※※	※※	
17	3	※※	※※	
17	4	※※	※※	
17	5	※※	※※	
17	6	717	4,227	
17	7	※※	※※	
17	8	※※	※※	
17	9	※※	※※	
17	10	※※	※※	
17	11	※※	※※	
17	12	698	8,461	
18	1	681	681	8,504
18	2	※※	※※	※※
18	3	※※	※※	※※
18	4	※※	※※	※※
18	5	※※	※※	※※
18	6	716	4,254	8,488
18	7	※※	※※	※※
18	8	※※	※※	※※
18	9	※※	※※	※※
18	10	※※	※※	※※
18	11	※※	※※	※※
18	12	651	8,472	8,472

#### 2. 刺身定食の食数集計表

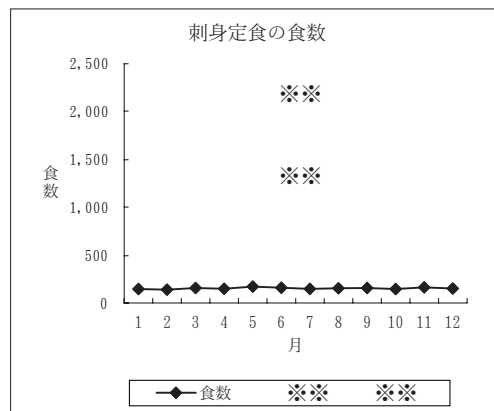
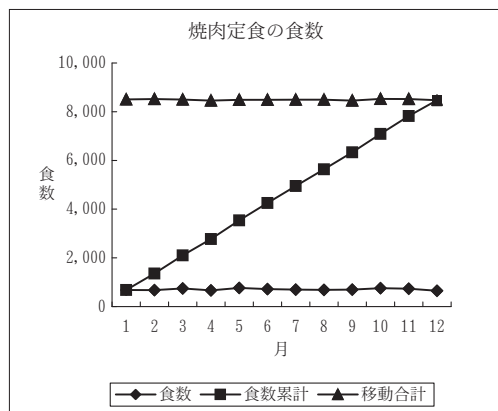
年	月	食数	食数累計	移動合計
17	1	180	180	
17	2	※※	※※	
17	3	※※	※※	
17	4	※※	※※	
17	5	※※	※※	
17	6	※※	※※	
17	7	※※	※※	
17	8	※※	※※	
17	9	※※	※※	
17	10	※※	※※	
17	11	※※	※※	
17	12	152	2,188	
18	1	128	128	2,136
18	2	※※	※※	※※
18	3	※※	※※	※※
18	4	※※	※※	※※
18	5	※※	※※	※※
18	6	※※	※※	※※
18	7	※※	※※	※※
18	8	※※	※※	※※
18	9	※※	※※	※※
18	10	※※	※※	※※
18	11	※※	※※	※※
18	12	133	1,613	1,613

#### 3. 18年売上集計表

	焼肉定食	刺身定食
単価	※	※
18年食数	※※	※※
食数構成比	※※	※※
18年売上	7,624,800	※※
売上構成比	※※	※※

#### 4. 食数の売上傾向分析結果

焼肉定食は、 傾向といえる。  
 刺身定食は、 傾向といえる。



(シート 4)

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成19年度 (第37回) 情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級 実技  
審査基準

売上傾向分析報告書

1. 焼肉定食の食数集計表

年	月	食数	食数累計	移動合計
17	1	638	638	
17	2	661	1,299	
17	3	766	2,065	
17	4	710	2,775	
17	5	735	3,510	
17	6	717	4,227	
17	7	691	4,918	
17	8	684	5,602	
17	9	733	6,335	
17	10	688	7,023	
17	11	740	7,763	
17	12	698	8,461	
18	1	681	681	8,504
18	2	676	1,357	8,519
18	3	747	2,104	8,500
18	4	667	2,771	8,457
18	5	767	3,538	8,489
18	6	716	4,254	8,488
18	7	696	4,950	8,493
18	8	685	5,635	8,494
18	9	697	6,332	8,458
18	10	755	7,087	8,525
18	11	734	7,821	8,519
18	12	651	8,472	8,472

2. 刺身定食の食数集計表

年	月	食数	食数累計	移動合計
17	1	180	180	
17	2	181	361	
17	3	221	582	
17	4	197	779	
17	5	209	988	
17	6	208	1,196	
17	7	169	1,365	
17	8	169	1,534	
17	9	167	1,701	
17	10	167	1,868	
17	11	168	2,036	
17	12	152	2,188	
18	1	128	128	2,136
18	2	122	250	2,077
18	3	137	387	1,993
18	4	130	517	1,926
18	5	151	668	1,868
18	6	140	808	1,800
18	7	129	937	1,760
18	8	135	1,072	1,726
18	9	137	1,209	1,696
18	10	128	1,337	1,657
18	11	143	1,480	1,632
18	12	133	1,613	1,613

3. 18年売上集計表

	焼肉定食	刺身定食
単価	900	1,500
18年食数	8,472	1,613
食数構成比	84.0%	16.0%
18年売上	7,624,800	2,419,500
売上構成比	75.9%	24.1%

4. 食数の売上傾向分析結果  
 焼肉定食は、停滞傾向といえる。  
 刺身定食は、減少傾向といえる。

注1 注2 焼肉定食の食数

注3 注4 月

●食数 ■食数累計 ▲移動合計

刺身定食の食数

注5 注6 注7 月

●食数 ■食数累計 ▲移動合計

配点

- ①表の作成 ( ) の箇所 ..... 5点×12箇所=60点  
 注 罫線は含まない。数値は、3けたごとにコンマをつけていること。
- ②罫線 2. 刺身定食の食数集計表 ..... 5点×1箇所=5点
- ③グラフの作成 ( ) の箇所 ..... 5点×7箇所=35点  
 注1 数値軸目盛は、最小値(0), 最大値(10,000)および間隔(2,000)が正しく設定されていること。  
 注2 グラフタイトルは、文字および位置(グラフの上側)が正しく設定されていること。  
 注3 項目軸目盛ラベルは、文字および位置(左から1~12)が正しく設定されていること。  
 注4 項目軸ラベルは、方向、文字および位置(グラフの下側)が正しく設定されていること。  
 注5 数値軸ラベルは、方向、文字および位置(グラフの左側)が正しく設定されていること。  
 注6 種類は、マーカーが付けられた折れ線グラフで正しく設定され、3本の折れ線が接していること(マーカーの種類は問わない)。4本以上の折れ線がある場合は不可。  
 注7 凡例は、位置(グラフの下側)および文字が正しく設定されていること(左右の順序は問わない)。

※ 審査にあたっては、「審査上の注意事項」をあわせて参照してください。